

コロナ禍の今、

「つながり」について考える

うるとらのほし編集部

伊藤綾香
千田子々



人とのつながりは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の動向によって、大きく影響を受けるものとなりました。2020年1月に国内で初めて感染者が確認されて以降、政府からは、手洗いなどの基本的な感染対策の実施や3密(密閉、密集、密接)の回避などの呼びかけが行われました。同年5月には、上記に加え、移動の自粛、通販やテレワークの活用を盛り込んだ「新しい生活様式」が提言され、物理的に人との距離をとらなければならなくなりました。

それは、ひゅーるぼんも例外ではありません。それは、「さあ、仕事終わりに飲みに行こう!」が「コロナだしZOOM飲みしようか」となり、ひゅーるぼんの子どもたちと夏のキャンプを計画していると「コロナじゃけん、また中止になるんでしょ?」と諦めの声があがります。また、ボランティアの受け入れや地域向けの子育てサロン、毎年地域の子どもたちがたくさん参加する夏まつりや、地域食堂なども中止せざるを得ない日々が続きました。

そのような制約の中でも、以前と同様の生活・経済を維持していくために、非接触・非対面による活動が可能なデジタルを活用する場面が増えました。

仕事の会議は、オンラインで行われることが増え、学校でもオンライン授業が広まりました。また、なかなか会えない家族や友人にも携帯で写真を送ったり、ビデオ通話を使ったりして気軽に状況を伝えることに活用するようになりました。あるアンケート調査では、インターネットやSNSを通じたつながりという結果もありました。コロナ禍で広



またデジタルは人がつながる手段として、欠かせないものとなってきているようです。しかし、本当に人間の「つながり」はデジタルの世界だけでこと足りるのでしょうか? 私たちは、コロナが流行する前から、「人と人がつながるには」「地域と社会がどうつながるには」と、さまざまな活動をしてきました。しかし、物理的な人との距離を求められる中で、改めて「つながる」とはどういう事なのかを考えたことを得ませんでした。デジタルのツールはとも便利で、パソコンやスマートフォンがあれば気軽に繋がることが出来ます。しかし、画面越しでは相手の空気感や雰囲気までを察することは、容易ではありません。つながりやすい分、そのつながりを切ることも簡単にできてしまうのです。反対に、直接的(リアル)なつながりには、一度深い関係ができれば、そう簡単には切ろうと思っても切れません。一方的なデジタルとは違い相互的な関係性

このニュースレターを音声で聴いていただけるようになりました! しかも、音声ならではの仕掛けつきです。ぜひ、こちらからどうぞ

2つ目の実験は、フリードリッヒ二世が行った実験です。今からおおよそ800年前、こんな疑問を持ちました。「言葉は一切教わらなかった赤ちゃんは、どんな言葉を話すようになるのか?」この実験のため、部下に50人の生まれたばかりの赤ちゃんを集めさせ、部屋に隔離しました。そして乳母たちには、下記の条件で赤ちゃんに関わるように指示しました。「赤ちゃんに、ミルク、お風呂、排泄のお世話をするが、目を見ることが、笑いかけること、話しかけることをしてはいけない!」つまり衣食住、生きるための世話はずきんとするが、スキンシップは一切取ってはいけないというものでした。800年前とはいえ、驚くような実験です。しかし、結果はもつと悲惨で、なんと3歳までに9割以上の子どもが亡くなってしまったといわれています。

みなさんはこの2つの実験から何を思われましたか? どちらも実験対象は幼い子どもです。人間は、生理的欲求を満たすことと同じぐらい、あるいはそれ以上に愛情や安心感で満たされること、そのための直接的な関わりや、つながりが必要だということを読み取れます。私たちも子どもたちと関わる現場にいて、幼少期のコミュニケーションやスキンシップの有無が、将来の育ちに影響すると感じています。コロナ禍の今、人との触れ合いを制限されながら過ごす子どもたちは、将来どういう大人になっていくのでしょうか。そして、人間関係の希薄さが指摘される中で、このつながりを「ちょうどいい」と感じている私たちが、描こうとしている社会の未来像とはなんでしょうか。今私たちが、この「ちょうどいい」という感覚について、何がどのようにちょうどいいのか、果してこれでもいいのかを考え直してみるときなかもしれません。

天候不良のときは中止です。持ってくるもの・着替え・タオル・水分補給健康チェックにご協力ください。お電話かメールで前日までに申し込んでくださいね。

田行雄、株式会社広島銀行古市支店、山本雅博、株式会社NTTドコモ 中国支社、総合エナジー株式会社、北川祐太、神谷良、佐藤僚介、川口隆司、蜂谷哲治、坂本剛志、株式会社中電工、湯地由美、広島信用金庫 匿名6名 (物品のご寄付) 川口町子(さつまいも)、山本和也(じゃがいも)、古屋みち子(みかん、りんご、お菓子)、金子涼一(餅米、野菜、雑巾、ティッシュ)、秋田訓宏(お肉、マスク、甘夏)、百人邑(薪)、志茂洋二(なた)、阿曾沼武(はっさく)、広島西南ロータリークラブ(テント、丸椅子、倉庫) 匿名8名(餅米、野菜、味噌、こんにやく、お肉、出汁、おもちゃ、おむつ、クレヨン) (敬称略・順不同)

あなたにありがとう

ご協力・ご寄付をありがとうございます(12月~5月)

(正会員・賛助会員) 阿曾沼武、大成権和志、吉田恭子、坂本剛志、松島夏子、湯地由美、迫谷克利、飯塚真美、上田直人 匿名8名 (寄付金) 2021年度ひよこ卒園児保護者一同、下垣内治登、司法書士法人高尾事務所、特定非営利活動法人ANT-Hiroshima、鎌田春生、株式会社BOAZ、ハウコクホールディングス株式会社、株式会社インシストコーポレーション、石黒アサ子、積水ハウス株式会社広島シャームゾン支店、株式会社アイランドオートみんなの板金屋さん、阿曾沼武、森

●ぼんぼん夏のカタログ

限定商品や新作グッズなど盛りだくさんの「夏のアートカタログ」。おしゃれな一筆箋、刺繍キーホルダー、とびだすカードなどなど...、楽しさいっぱいの内容です。Instagramなどでも情報発信していますのでぜひチェックしてみてください。注文〆切は7/14(木)、商品のお渡しは7/23(土)頃からの予定です。

●ボランティア募集

学生ボランティアの受け入れを再開しています。7~9月の夏休み期間は「夏ボラ」も復活です。コロナの感染対策はまだまだ必要ですが、こどもたちと元気がいっぱい遊びませんか? 詳細や申し込みは、QRコードからどうぞ。



●子育てサロン 夏はやっぱりどろんこ & 水遊び

乳幼児さん対象です。7月19日、26日 8月2日、9日 10:30~11:30



賛助会員 Hull Fan 年間4,000円 お申し込みは www.hullpong.jp からカードでお受けすることもできます

私たちの活動は あなたのおこころを少しでもあたたかく やさしくふくらませます ぜひ私たちを支援してください このご寄付は税制上の優遇を受けることができます

今年、ひゅーるに新人が5人も入ってきてくれました。ひゅーるでのボランティア体験が就職のきっかけになった方、大学の先生のご紹介など、人材難といわれる中でとてもありがたく感じました。そして、さらに! 今回の特集は、20代のスタッフが調べて、考えて、議論して、また考えて...というすごい努力で書き上げました! フレッシュな力に感動している日々です。(T.K)

この子らと世に光を 発行者: 認定NPO法人ひゅーるぼん 発行日: 2022/06/20 (年2回発行) ひゅーるぼん会報"うるとらのほし"